

第33回 全日本女子スリークッション選手権大会

世界女子スリークッション選手権大会 代表選考会 [兼] 《大会要項》

日 程：2026年3月3日(火)・4日(水) 10:00開始

会 場：千代田区／霞が関ビル内 霞が関プラザホール

東京メトロ銀座線「虎ノ門駅」徒歩2分 他最寄り駅多数(徒歩6分～10分)
(〒100-6090 東京都千代田区霞が関3-2-5)

試合方式：クロック使用 [40秒自動更新／全ゲーム TimeOut-2枚] *選手細則参照

3月3日(火) 予選ラウンド

4名編成×4組 16点ゲーム (40キュー打切り両者敗け)
各組上位2名が決勝ラウンド進出

3月4日(水) 決勝ラウンド

4名編成×2組 20点ゲーム (50キュー打切り両者敗け)
各組上位2名が決勝トーナメント進出
決勝トーナメント・順位決定戦 (打切りキュー数無し)
4名シングルトーナメント 25点ゲーム
3・4位、5・6位決定戦 20点ゲームあり

地 区 枠：選手権者シード 西本優子〔JPBF東日本〕

北海道・東北：1 中部・静岡：1 関西・北陸：2

中国・四国・九州：1 関東：8 NBA推薦 若しくは主管地：2

以上 16名 (欠員の補充は主管地に一任とする)

出場資格： 要C Sカード

日本国籍を有する者

概ね17点以上の持ち点である事を推奨

國際的に共有されるアンチ・ドーピング活動の基本理念を理解し規則を遵守し隨時の検体採取に応じられる選手に限る (全参加者がエントリー時点でアンチ・ドーピング活動の定める規則遵守に応諾したとみなされます 添付別紙をご確認ください)

出 場 費：15,000円

《振込先》 三菱 UFJ銀行 新橋駅前支店

(普) 5418935 日本ビリヤード協会関東支部

*NBA各支部からの一括入金 *関東支部加盟店は店舗にて一括入金

それ以外は振込名の冒頭を「プレーヤー氏名」にて入金してください

締切日：1月26日(月) 付けの入金確認にて締切り

申込方法：1月26日(月) 必着にて、各支部事務局より下記アドレスまでお申込みください

alljapan.3c@gmail.com

① 出場プレーヤー氏名

② 所属支部名

③ 全日本女子選手権大会 最高位

④ 顔写真（画素数の高い写真を送信してください）

出場経験のあるプレーヤーは差替えを希望されない限り不要ですが、出来る限り

本年度用の写真提供に御協力ください

組合せ：試合方式・組合せは2月18日(水)夜半迄に発表します

協力依頼：関東支部 加盟店各位

レフリー輩出へのご協力をお願いします〔謝礼有り〕

本大会は2026年9月にフランスにて開催予定の第14回世界女子スリークッション選手権大会及びアジア選手権等が開催される際の権利期間内に於ける日本代表選考会を兼ねます

* 主管国や世界情勢により国際戦は予告無く中止となる可能性がございます

ご理解の上ご出場ください

* 霞ヶ関ビル特設開催に伴う要項等であり全て本年度だけの適用となります

* 代表権に通じる本開催に於いては LPBA選手の出場を受付ける事が出来ません

主催：公益社団法人 日本ビリヤード協会

〒160-0013 東京都 新宿区霞ヶ丘町 4-2

Japan Sport Olympic Square 704号室

公益社団法人 日本ビリヤード協会

Tel 03-5770-7911 Fax 03-5770-7913

主管：日本ビリヤード協会 関東支部

Mail Address info@nba-kanto.com

Fax 03-5770-7913

第33回 全日本女子スリークッション選手権大会

世界女子スリークッション選手権大会 代表選考会 [兼] 《選手細則》

服装規定：全日本選手権に相応しい服装である事

(フォーマルウエア：正装 若しくは 盛装)

- * 競技・表彰式ともに日本国旗やオリンピック(JOC含)に関わるマークの装着を禁止
- * 極端な肌の露出、スニーカーやバックストラップの無い靴は禁止
- * 頭部を覆う物を禁止します（特別な事情がある場合は事前に申告する事）

集合時間：呼び出し時に試合に入らず 10 分間経過すると失格(大会そのもの)となります

- * 同回転内でゲームNo.の変更を依頼する可能性がございます
予めご了承の上大会運営へのご協力をお願します

練習：リーグ戦／各自第1ゲーム目5分 第2ゲームから5キュー

順位決定戦／全ゲームとも各自3分

試合方式：バンキングに関して UMB ルールを適用し 以下の通りと致します

☆ レフリーコールが終わった後 両者揃ってバンキングをすること

先に撞いた手球が短クッション到達前までに後者が撞き終わっていない場合は
ファールとなり初球選択権を失います

レフリーコールが終わる前にバンキングを撞いた場合はノーカウントとし再度
バンキングを行います 2回目にバンキングを行った結果再度ノーカウントとなつた
場合ファールをした選手に初球選択権がなくなりますのでご注意ください

☆ 各テーブルにクロックを配置いたします

☆ 40秒ルール Time Out 全ゲーム2枚 (Time Out 自動更新：申告不要)

☆ 与えられた Time Out の枚数を使い切りショットまでに40秒経過させるとファール
となります（プレーヤーが交代し相手は必ず初球立直しからプレーします）

☆ ロストタイムの申請はレフリーが認識しない限りクロックが進み続けるため明確に行う事
ロストタイムオフはレフリーが判断します

☆ 試合中の離席（トイレタイム）について

予選・決勝ラウンド（リーグ戦）及び 3・4位、5・6位決定戦

Time Out は1ゲームに1回1枚を使用してトイレタイムを取ることができます

（良識の範囲内5分を限度とする事）自分の順番時にのみ使用可能 Time Out を失った
後は持ち時間の範囲内で済ませる事 休憩では無いのでトイレ以外（喫煙等）認めません

決勝トーナメント（25点 シングルトーナメント 裏撞き無し）どちらかのプレーヤーが
13点に達したイニング後 レフリーの指示及び計測により5分間以内の休憩を取ります
＊ Time Out を使用してのトイレタイムはできません

競技使用設備

テーブル：Min Billiards Table

ラ シ ャ：確認中

ボ ー ル：確認中

日本ビリヤード協会 関東支部 事務局

【アンチ・ドーピングに関する注意事項】

アンチ・ドーピングは競技ビリヤードに於いて国際的に取り決められた義務です

ドーピング検査に関する国内での一連のプロセスは日本アンチ・ドーピング機構と日本スポーツフェアネス推進機構に委ねられており、競技会に携わる全ての方に守って頂く必要があります

1. 本競技会は、日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会です。
2. 本競技会参加者(18歳未満の競技者を含む。以下同じ)は、競技会にエントリーした時点で日本アンチ・ドーピング規程に従い、ドーピング・コントロール手続の対象となることに同意したものとみなします。18歳未満の競技者については、本競技会への参加により親権者の同意を得たものとみなします。
3. 本競技会に参加する18歳未満の競技者は、親権者の署名した同意書を大会に持参し携帯して下さい。親権者の同意書フォームは、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構(JADA)のウェブサイトからダウンロードできます。

親権者同意書フォーム <https://www.playtruejapan.org/jada/u18.html>

18歳未満の競技者は、ドーピング検査の対象となった際に、親権者の署名が記載された当該同意書を担当検査員に提出して下さい。なお、親権者の同意書の提出は18歳未満時に1回のみです。当該同意書提出後に再びドーピング検査の対象となった場合は、すでに提出済みであることをドーピング検査時に申し出て下さい。ドーピング検査会場において親権者の同意書の提出ができない場合には、検査後の7日以内にJADA事務局へ郵送にて提出して下さい。親権者の同意書の提出がなかった場合でも、ドーピング・コントロール手続に一切の影響がないものとします。

4. 本競技会参加者は、本競技会において行われるドーピング検査(尿・血液等検体の種類を問わず)を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等の個人的諸事情によりドーピング検査手続を完了することができなかつた場合など、いずれもアンチ・ドーピング規則違反となる可能性があります。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意して下さい。
5. 競技会・競技会外検査問わず、血液検査の対象となった競技者は、採血のため競技/運動終了後2時間の安静が必要となるので留意して下さい。
6. 日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、JADAウェブサイトでご確認下さい。

JADA ウェブサイト <https://www.playtruejapan.org/>

JADA アスリートサイト <https://www.realchampion.jp/>

補記 1：上記以外の具体的な注意事項

A. アンチ・ドーピング基本理念に則り競技者に課せられた責務として、自己が摂取又は使用する食品やサプリメントを含む薬品等について、その責任は出場者自身が負わなければなりません。

接種物の自己管理に関するアスリートサイト

薬品類についての問い合わせ <https://www.playtruejapan.org/medical-staff/medicine/>

B. 医師の治療にかかる際は、禁止物質や禁止方法を使用してはならないという自己の責務を伝え、自己に施される治療がアンチ・ドーピング規則に違反しないことを確認しなければなりません。治療に関する医療従事者サイト

<https://www.playtruejapan.org/medical-staff/>

C. 競技会検査対象大会の参加者で治療のため禁止物質や禁止方法を使用する必要がある場合は、予め JADA に TUE(治療使用特例)を申請し承認を得ておかなければなりません。

TUE 取得条件・申請に関するアスリートサイト

<https://www.realchampion.jp/what/health/about/confirm.html>
<https://www.realchampion.jp/what/health/tue/>

TUE 取得条件・申請に関する医療従事者サイト

<https://www.playtruejapan.org/medical-staff/request/>

D. 競技会検査対象大会と公表されていなくても、「全日本レベルの大会」は全てドーピング・コントロール対象大会である為、大会終了直後を含めた隨時に競技会外検査が参加者に実施される場合があり、これを拒否又は回避することは制裁等の対象となります。予め JADA に TUE を申請し承認を得ておく必要はありませんが、検査が実施されて陽性となった場合に JADA への事後の TUE 申請「遡及的 TUE 申請」対応が求められ、結果が承認されない場合には制裁等の対象となる為、自身への治療が TUE 取得条件を満たしていることを主治医に確認する等の準備が必要となります。

E. 検査対象者は上位入賞者に限らず、ランダムに複数名が抽出されます。

補記 2：競技者の責務について 《日本アンチ・ドーピング規程から抜粋》

24.2 いつでも検体採取に応じること。

24.3 アンチ・ドーピングとの関連で、自己の摂取物及び使用物に関して責任を負うこと。

24.4 禁止物質及び禁止方法を使用してはならないという義務を負っていることを医療従事者に対して自らが伝達するとともに、自らが受ける医療処置についても、本規程に基づき導入されたアンチ・ドーピング規範及び規則に対する違反に該当しないようにすること。

日本アンチ・ドーピング規程

<https://www.playtruejapan.org/code/provision/japan.html>

日本アンチ・ドーピング規程は、世界アンチ・ドーピング規程に規定されている各条項に基づいて作成された日本国内におけるアンチ・ドーピング規則です。世界アンチ・ドーピング機構(EADA)が定めている国際基準に基づいた活動内容を展開することが規定されています。

日本アンチ・ドーピング規程は、日本オリンピック委員会、日本パラリンピック委員会、日本スポーツ協会、JADA に加盟する国内競技連盟、都道府県スポーツ協会に適用され、各組織の役割と責務を規定しています。個人の立場から見た場合には、国内競技団体に所属したり、国内競技団体が主催する活動や競技大会に参加することによって、アスリートだけでなくサポートスタッフにも日本アンチ・ドーピング規程が適用される構造となっています。

【海外派遣に備えて、知つておいて頂きたいこと】

WADA が示した「2021Code/教育に関する国際基準」に対応して、ドーピング検査に依らずに自らがスポーツの価値を護り育む主体性を養うことを趣旨とした「検査の前の教育」「派遣の前の教育」の実践が、各国競技団体組織が取り組むべきアンチ・ドーピング活動の一環に加わることとなりました。

今後、段階的に、国際競技連盟やアジア競技連盟などが主催する国際競技大会の派遣要件として、アンチ・ドーピング機構によって資格承認された「承認 EDUCATOR」による教育を受けた証明書の提出、アンチ・ドーピング機構が提供する E ラーニングを受講した証明書の提出などが求められるようになります。

各競技種目の世界選手権やアジア選手権に先んじて JOC が TEAM JAPAN を編成して派遣を実施するアジアインドア＆マーシャルアーツゲームズ大会やアジア競技大会が、主要国際総合競技大会として上記の対応を要する対象となることが公表されています。

「主要国際総合競技大会派遣における教育実施の指針」について」

<https://www.playtruejapan.org/topics/2023/000650.html>